

ノーベル賞受賞者2名が語る、難病と寄附の未来

参加費無料

患者と研究をつなぐ 寄附文化を考える

■ 日 時 令和8年(2026年)8月29日(土) 13:00～
■ 会 場 神戸市立中央区文化センター 1階 多目的ルーム
〒650-0031 神戸市中央区東町115番地
■ 定 員 先着80名(要申込) 1組2名様まで

登壇者



2012年 ノーベル生理学・医学賞受賞

山中 伸弥 先生

京都大学IPS細胞研究所 名誉所長・教授 /
京都大学IPS細胞研究財団 理事長
2012年ノーベル生理学・医学賞受賞(成熟細胞が多能性を持つ状態へと初期化できることの発見)

演題

iPS細胞の医療応用
ー神経難病への挑戦



2025年 ノーベル生理学・医学賞受賞

坂口 志文 先生

大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特任教授 / 大阪大学 特別荣誉教授
2025年ノーベル生理学・医学賞受賞(末梢性免疫寛容に関する発見)

演題

制御性T細胞による新しい
免疫医療
多発性硬化症など
神経難病治療への可能性

トークセッション「難病と寄附文化」 山中伸弥先生×坂口志文先生×成宮周先生(公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 理事長)

当日プログラム

- 13:00 主催挨拶 (一社)兵庫県難病団体連絡協議会 代表理事 熊谷 博臣 氏
来賓祝辞 公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 名誉理事長 井村裕夫 先生
- 13:10 遺贈寄付贈呈式 NPO法人神戸市難病団体連絡協議会 理事長 森田繁和 氏
- 13:25 講演 山中伸弥先生 「iPS細胞の医療応用ー神経難病への挑戦」
- 14:00 講演 坂口志文先生 「制御性T細胞による新しい免疫医療多発性硬化症など神経難病治療への可能性」
- 14:30 休憩
- 14:45 トークセッション「神経難病と寄附文化」 山中 伸弥 先生・坂口 志文 先生・成宮 周 先生
- 15:15 Q&Aパネルディスカッション
- 15:35 終了予定

アクセス



神戸市立中央区文化センター1階 多目的ルーム

〒650-0031 神戸市中央区東町115番地
各線 三宮駅より徒歩約8分

申込はこちら

【申込期間】2026年7月15日(水)～7月31日(金) 17:00まで

【申込・問合せ】(一社)兵庫県難病団体連絡協議会
TEL:078-322-1878

MAIL:mousikomi@kobe-nanbyo.com

※後日、AASJのYouTubeチャンネルにて配信予定

